

アンケートのテーマ選びによって見えてくるユーザーの立場や心理状態

今回の調査では、さまざまなテーマに対して多彩な意見・感想が寄せられた。

そして、テーマごとに、ユーザーの年齢や乗っている車種などの特徴が現われていることも分かった。

まず、ペットについての意見を送ってくれた人たちは、年齢的には50代が中心で、その数22人。

(以下40代12人/60代8人/30代3人と続いた)。

この人たちが乗っている車種としては、キャブコンが圧倒的に多かった

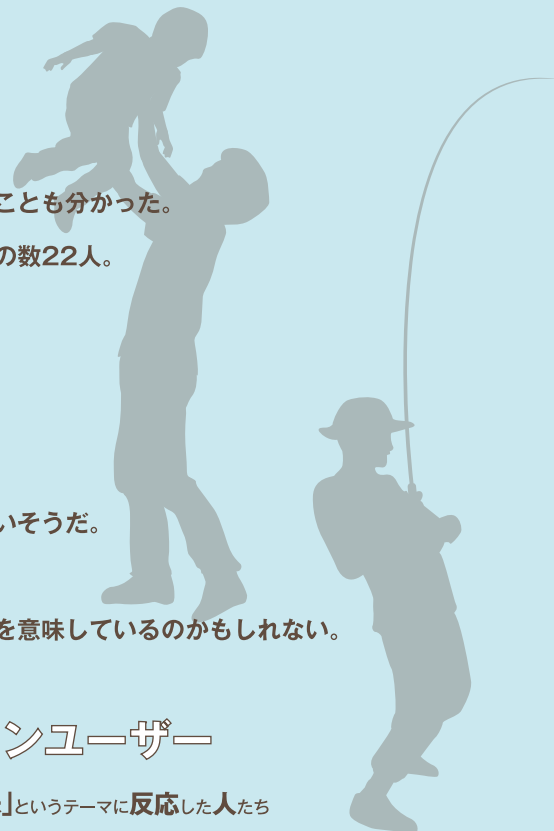
(キャブコン27人/バンコン13人/バスコン2人/軽キャン1人)。

これは、50代という世代になると子育てが終わっている人が多く、

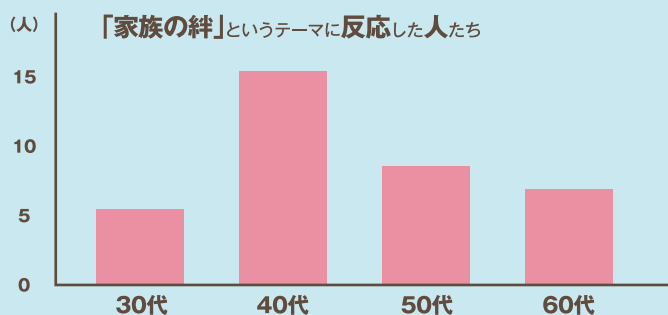
子供の代わりにペットを連れて旅行を始めた年齢の人が中心となることを意味していそうだ。

また、ペットを同伴する車の居住性を考えると、

バンコンより多少室内が広いキャブコンが適していると判断した人が多かったことを意味しているのかもしれない。



「家族の絆」に関心を示したのは40代のキャブコンユーザー



「家族の絆」というテーマに反応した人たちは、年齢的に40代が目立った(40代...15人/50代...8人/60代...6人/30代...5人)。

乗っている車種ではキャブコンが多かった(キャブコン...14人/バンコン...7人/バスコン...5人/軽キャン...3人)。

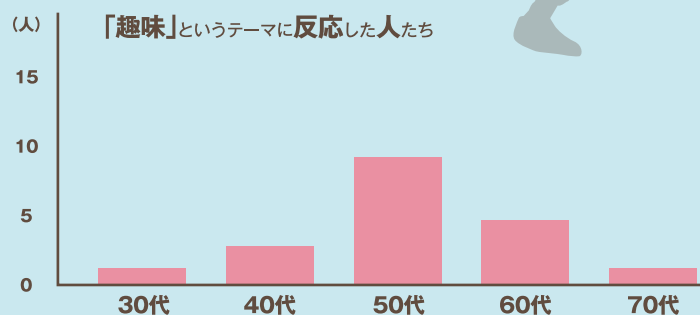
以上のことから、「家族の絆」というテーマに関しては、40代くらいの子育て中の人々が興味を持って真剣に取り組んでいる状況が伝わってきた。

「趣味」をテーマにしたアンケート調査で得られたユーザーの特徴は次のとおり。

年齢でいうと、50代がトップで9人(以下60代...5人/40代...3人/30代...1人/70代...1人)。

車種別では、バンコンがトップで9台(キャブコン...6台、キャンピングトレーラー...4台)となった。

やはり、関心領域を「自分たちの家族」から「自分だけの趣味」にシフトす



るというのは、子育てもある程度終わる50代という年齢に達している必要があるということなのだろう。

また趣味のなかには、それに用いる車の機動力を考慮しなければならないものもあるため、キャブコンよりはバンコンという判断になったのかもしれない。

ちなみに、趣味の種類では釣りがトップで5人(登山・山歩き...4/スキー...2/温泉...2/高山植物観賞...1/野生動物鑑賞...1/寺社仏閣めぐり...1/自動車レース...1/音楽...1)となった。

また、キャンピングカー旅行の「時間の制約がないこと」や「計画を立てる際の柔軟性」に注目した人たちは、50代と60代に集中した(40代...12人/60代...20人/50代...22人/70代...2人)。

車種でいうと、キャブコン...25人/バンコン...19人。以下トレーラー...3人/バスコン...3人/軽キャン...2名という順になった。

マナーと一緒に素敵なくま旅をお楽しみ下さい

キャンピングカーユーザーの増加に伴い、一部の心ないユーザーのマナー違反がニュースに取り上げられたり、道の駅からの締め出しといった事態も発生しています。同じマナー違反でもキャンピングカーユーザーがやっているというだけで端からは目立ってしまう場合もあります。みんなが快適で楽しいくま旅が出来るようキャンピングカーユーザーひとりひとりにマナーを心掛けて頂こうと日本RV協会では『公共駐車場でマナー厳守10カ条マナーハンドブック』を配布しています。10カ条は以下の通りです。

- ①長期滞在を行わない
 - ②キャンプ行為は行わない
 - ③電源から電気を盗まない
 - ④ゴミの不当投棄はしない
 - ⑤トイレ処理は控える
 - ⑥グレータンクの排水は行わない
 - ⑦発電機の使用には注意を払う
 - ⑧オフ会の待ち合わせは慎重に
 - ⑨車椅子マークの所に駐車しない
 - ⑩無駄なアイドリングをしない
- 詳しくはマナーハンドブック、または日本RV協会ホームページ(<http://www.jrva.com>)でご確認下さい。



安心・快適な 日本RV協会認定 車中泊施設



快適
宿泊



電源
完備



温泉
近接



地域
密着

「RVパーク」とは、一般社団法人「日本RV協会（JRVA）」が進めている車中泊専用施設のことで、
「安心・快適なキャンピングカー泊」を実現するものです。

近年キャンピングカーユーザーの休憩施設として人気の高い「道の駅」や、立ち寄り湯の敷地内、
あるいはホテル・旅館の駐車場の一角に、有料を条件にAC電源供給設備やゴミ処理システムなどを整えた
キャンピングカー専用エリアのことを意味し、現在は日本全国で61ヶ所の施設が稼働しています。（2016年1月31日現在）
このRVパークの大まかな特徴をいえば、

- ① ゆったりした駐車スペースを有すること
- ② 長期間の駐車が可能なこと
- ③ 近隣に入浴施設があるか、あるいはシャワー設備を備えること
- ④ ゴミの処理が可能なこと
- ⑤ トイレなどの設備を有すること
- ⑥ キャンピングカー等が使用できる電源コンセントが設置されていること
- ⑦ 入退場の時間制限がないか、制限がゆるやかであること

などといった項目が挙げられます。

使用料金は、だいたい1泊2,000円が目安になっていますが、施設によっては電源代やゴミ処理台が込みになる場合もありますし、
逆に基本料金を安くして、電源やゴミ処理は希望者だけに別料金として徴収するところもあります。

どの施設も、基本的に予約は必要ないということになっておりますが、

混み合うことが予想されるシーズンには電話予約を受け付けてくれるところもあります。

近年、道の駅やサービスエリア、民間の駐車場施設などで車中泊されている方々のルール違反やマナーなどが問題視されたりしていますが、

日本RV協会では、そのような問題の起こらない場所としてRVパークを整備し、

多くのキャンピングカーユーザーに、安心して快適に車中泊できる専用施設として利用していただきたく思っています。



■ RVパークに関するお問合せこちらまで

一般社団法人

日本RV協会

〒194-0022 東京都町田市森野1-10-10 ペアシティエンドビル2-A

☎ 042-720-7911 FAX.042-720-7251

E-mail : info@jrva.com

URL : <http://www.jrva.com>

JRVA